

とよしんの健全度

とよしんでは、お客様が安心してお取引いただけるよう「堅実経営」「健全経営」を行っております。

■自己資本比率

とよしんの自己資本比率は、9.83%と国内基準の4%、国際基準の8%を大きく上まわることができました。

■不良債権比率

●信用金庫法開示債権（リスク管理債権）及び金融再生法に基づく開示債権比率
（総与信に対する不良債権比率）
不良債権比率は、2.67%と、2023年3月期に比して、0.09ポイント上昇しました。

■預金残高

とよしんの預金残高は、1兆8,280億円と前年度比685億円プラスとなり堅調に推移しました。「お客様の信用・信頼のバロメーター」である個人預金は年間80億円増加しました。

■収益状況

2023年度は、業務純益39億円、経常利益37億円、当期純利益27億円と健全な経営を行っております。

■内部留保

とよしんの財産である会員勘定（出資金、特別積立金等）は、808億円と前年度比26億円プラスとなり、より内部留保を充実することができました。

■内部管理体制

とよしんは、自己責任原則にもとづく内部統制システムの充実を主要経営課題と位置づけ、法令等遵守及びリスク管理等の内部管理体制の構築を進めています。

また、マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融の防止に向けた対策を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、リスク統括部を統括管理部署、リスク統括部担当役員を責任者として定めるとともに、直面するリスクを適切に評価し、リスクに応じた対策を実施しています。

地域密着型金融の取組みについて

当金庫では、ビジョンとする「地域ナンバーワン金融機関」を目指し、「地域密着型金融推進計画」を策定し、各種項目について積極的に取組みました。

1.経営理念

当金庫は、地域の皆様にお役に立つコミュニティ・バンクを目指し、「貢献」「健全」「幸福」を経営理念として、地域にあって地域とともに歩んでまいります。

2.目指す姿：地域ナンバーワン金融機関

信用金庫を取り巻く経営環境は、間接金融から直接金融への流れ、グローバル化やIT化の進展、他業態からの金融業界への参入など、大きな変化にさらされています。

こうした環境下において、これまでの経営モデルを見直し、業務の広範囲において新しい取組みを始めることが必要となってまいりました。今後も創意工夫をこらし、お客様のニーズにお応えするとともに、地域貢献活動やコンプライアンス・CS活動を徹底し、地域ナンバーワン金融機関を目指してまいります。

3.地域密着型金融の取組みについて

当金庫が取組む地域活性化のポイント

- (1) 成長可能な中小企業・事業を発掘・発見・育成（経営革新計画、各種補助金申請書作成支援や6次産業化支援等）します。
- (2) 自動車部品等のもの作り技術や建設機械設備等を活用した事業転換・起業を側面支援することにより、地域内の事業所先数を増加させます。
- (3) アジアビジネスへのサポートを通じて、お客様のビジネスチャンスの獲得・拡大を国内外関係当局、支援機関、海外現地銀行、海外工業団地等と密接に連携し支援します。
 - ① 進出国・地域の情報提供
 - ② 現地銀行口座の開設支援
 - ③ 海外ビジネスマッチング支援
 - ④ 海外貿易投資ニュースの発行
 - ⑤ 現地での資金調達支援
 - ⑥ 本邦と海外との輸出入取引等の販路拡大、具体的な輸出入手続等のお手伝いをいたします。